

第3回高松市中心市街地活性化協議会 開催結果

○日 時 平成19年2月16日(金) 9時30分から11時15分まで

○場 所 当所会館 4階 401会議室

○出席者 委員 22名 ・ オブザーバー 11名 ・ 傍聴者 4名

○開催結果

植木英治会長が開会挨拶を行った後、議長となり会議を開催した。

まず、事務局から次のとおり委員の変更及び新たに加わったオブザーバーの紹介を行った。

変更 委員 株式会社三越高松店 副店長 辻 村 武

新 オブザーバー 財団法人民間都市開発推進機構

中心市街地活性化支援室課長 高 木 悟



次に、議長は、議題(1)「新・高松市中心市街地活性化基本計画(案)について」を上程し、西尾高松市産業部商工労政課課長補佐より資料に基づき、詳細に説明を受けた。

この後、意見交換に移り、委員からは「数値目標、特に、歩行者通行量は現実的なものかどうか疑問を感じる。また、売り場面積に応じて売上が増加する

積算は、楽観的すぎないか。」「通行量は、8町全体でどうなるかを考えるべきではないか。」「商業・サービスの高度化の数値目標には、既存店舗の再開発や質的変化が表わせる指標が、何か必要ではないか。」「まちづくりをコンパクトシティへ変えて行くのであれば、過去の事業を羅列するのではなく、根本から検討したうえで、事業を入れていくべきではないか。」「高松市全体のビジョンの中で、この中心市街地

活性化の位置付けを明確にしないと、市民や次世代の理解は得られないのではないか。」等の建設的な意見が多数出された。

活性化の位置付けを明

確にしないと、市民や次世代の理解は得られないのではないか。」等の建設的な意見が多数出された。

